

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	実践学習	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 滝川 啓子・折本 陸郎 専任教員		

授業科目情報

授 業 内 容	一般教養を身につけ就職活動を円滑に行わせる ビザ更新の申請書類作成の援助
到 達 目 標	それぞれの進路に合わせて、進学なり、就職なりをさせる。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 自己紹介 2 キャリアと仕事へのアプローチ 3 仕事の基本となる8つの意識 4 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 5 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 6 指示の受け方と報告、連絡・相談 7 話し方と聞き方のポイント 8 話し方と聞き方のポイント 9 来客応対と訪問の基本マナー 10 来客応対と訪問の基本マナー 11 会社関係でのつきあい 12 仕事への取り組み方 13 ビジネス文書の基本 14 電話応対 15 統計・データの読み方・まとめ方 16 統計・データの読み方・まとめ方 17 情報収集とメディアの活用 18 情報収集とメディアの活用 19 会社を取り巻く環境と経済の基本 20 JLPT試験対策 21 JLPT試験対策 22 業界研究 23 自己分析 24 自己分析 25 履歴書・エントリーシートの書き方 26 履歴書・エントリーシートの書き方 27 企業説明、就職面接について 28 面接対策 29 面接対策 30 面接対策
成 績 評 価 方 法	1)試験点=70% 2)出席・平常点=30% 授業内の模擬テスト、ロールプレイングの取り組み具合なども考慮。 JLPTなどの検定試験合格時には、加点評価。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	1年
授 業 科 目 名	情報化と経営	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:辻 昌宏 インテック㈱、システム機器㈱でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。 ・ビジネスITシステムの中核となる「経理知識」については重点的に強化します。 ・教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。 ・細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験合格レベル ・ITパスポート試験出題レベル以上(経理知識) ・検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。
教 科 書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社,原山真美子 著)
年間授業計画	令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聡 著) <ol style="list-style-type: none"> 1 簿記の基礎 2 商品売買 3 現金預金 4 手形と電子記録債権(債務) 5 有形固定資産 6 その他の取引 7 帳簿 8 試算表 9 伝票と仕訳日計表 10 決算手続き1 11 決算手続き2 12 決算手続き3 13 ITサービスマネジメント 14 前期復習問題演習 15 企業活動の基礎知識 16 企業の会計業務 17 財務や会計処理に係る計算 18 分析手法とプロセス改善手法 19 経営戦略と経営分析 20 マーケティング戦略 21 ビジネス戦略と技術開発戦略 22 情報システム戦略とシステム活用 23 経営管理システム 24 エンジニアリングシステム 25 e-ビジネス 26 ソリューションビジネス 27 知的財産を守る法律 28 セキュリティを守る法律 29 労働関連・取引関連の法律 30 企業が負う法令順守の責任 / ソフトウェア開発やシステム管理の企画
成績評価方法	①出席率=30% ②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	1年
授 業 科 目 名	情報リテラシー	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:辻 昌宏 インテック㈱、システム機器㈱でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。 ・リテラシーの中核となる「表計算」「データベース」「IoT」については重点的に強化します。 ・教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。 ・細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験合格レベル ・ITパスポート試験出題レベル以上の操作知識習得(表計算、データベース、IoT) ・検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。
教 科 書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社,原山真美子 著)
年 間 授 業 計 画	<p>令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聡 著)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 表計算ソフトの基本機能 2 セルの参照機能 3 表計算ソフトの関数 4 IF関数の使い方 5 表計算分野の筆記問題演習 6 DBMS(データベース管理システム)の機能 7 排他制御機能 8 データ更新とリカバリ 9 関係データベースの仕組み 10 表設計とフィールドのルール 11 データベースの設計に使うE-R図 12 データ操作に使う演算 13 データベース分野の筆記問題演習 14 前期復習問題演習 15 開発プロジェクトのマネジメント <ol style="list-style-type: none"> 16 ITサービスの調達 17 IoT 戦略・企画 18 IoT プロジェクトマネジメント 19 IoT 人材育成と企業間連携 20 エネルギー関連のIoT 21 身近なIoT 22 産業界のIoT 23 海外におけるIoTプロジェクト 24 IoT関係の標準規格 25 通信関連の法律 26 製造及び航空法に関する法律 27 ライセンス 28 IoTデバイス 29 IoTプラットフォーム / IoT データ分析 30 後期復習問題演習
成 績 評 価 方 法	<p>①出席率＝30%</p> <p>②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点＝70%</p> <p>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</p> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	1年
授 業 科 目 名	情報処理概論	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担当教員・略歴	担当:辻 昌宏		

授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。 ・これからのIT技術の中核となる「AI」については重点的に強化します。 ・教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。 ・細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験合格レベル ・ITパスポート試験出題レベル以上の知識習得(AI) ・検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。
教 科 書	令和02年 ITパスポートの newlyわかる教科書(技術評論社,原山真美子 著)
年間授業計画	令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクトラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聡 著) <ol style="list-style-type: none"> 1 2進数の計算と単位の換算 2 データの処理に必要な演算 3 コンピュータの頭脳「プロセッサ」 4 データの保管庫「記憶装置」 5 周辺機器とインターフェース規格 6 ソフトウェアの種類と役割 7 目的に合わせたシステム構成 8 プログラミングの予備知識 9 インタフェースとマルチメディア 10 システム開発1 11 システム開発2 12 ソフトウェアの開発技法 13 ITサービスマネジメント 14 性能評価の指標(稼働率) 15 前期復習問題演習 16 設備管理とデータの管理 17 リスク管理とセキュリティ管理 18 システム監査 19 人工知能(AI)とは 20 人工知能研究の歴史 21 人工知能をめぐる動向(探索・推論) 22 人工知能をめぐる動向(知識表現) 23 人工知能をめぐる動向(機械学習・深層学習) 24 人工知能分野の問題 25 機械学習の具体的手法(代表的な手法) 26 機械学習の具体的手法(手法の評価) 27 ディープラーニングの概要(ニューラルネットワークとディープラーニング) 28 ディープラーニングの概要(ディープラーニングのアプローチ) 29 ディープラーニングの概要(ディープラーニングを実現するには) 30 後期復習問題演習
成績評価方法	①出席率=30% ②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	情報数学	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	2.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:葉玉 信子 日本ユニシス(株)や(株)ダイナックスでプログラマーとして勤務。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

授業科目情報

授 業 内 容	・情報学を学ぶために必要な数学の基礎を学習する。 ・論理的な考え方が出来る様に、基本的な数学の理解を深めて行きます。
到 達 目 標	・ITパスポート試験合格を目指して学習して行きます。
教 科 書	ITパスポート出るとこマスター
年 間 授 業 計 画	1 Chapter2 情報処理の基礎知識 2進数 2 Chapter2 情報処理の基礎知識 基数変換 3 Chapter2 情報処理の基礎知識 基数変換 4 Chapter3 情報処理の基礎知識 基数変換 5 Chapter2 情報処理の基礎知識 データ処理に必要な演算の知識 6 Chapter2 情報処理の基礎知識 データ処理に必要な演算の知識 7 論理演算 8 確率について 9 確率について 10 順列と組み合わせ 11 順列と組み合わせ 12 稼働率 13 稼働率 14 前期試験対策 15 前期試験 16 ITテクノロジー系過去問題演習 17 ITテクノロジー系過去問題演習 18 ITテクノロジー系過去問題演習 19 ITテクノロジー系過去問題演習 20 ITテクノロジー系過去問題演習 21 ITテクノロジー系過去問題演習 22 ITテクノロジー系過去問題演習 23 ITテクノロジー系過去問題演習 24 ITテクノロジー系過去問題演習 25 ITテクノロジー系過去問題演習 26 ITテクノロジー系過去問題演習 27 ITテクノロジー系過去問題演習 28 ITテクノロジー系過去問題演習 29 後期試験対策 30 後期試験
成 績 評 価 方 法	出席30%・定期試験の評価70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	アルゴリズム	授 業 方 法	講義・実習
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 滝川 啓子 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	基本制御構造の理解。フローチャートの作成。データ構造の理解。 複数あるソートやサーチのアルゴリズムを知る。
到 達 目 標	与えられた課題のフローチャートが作れるようになる。 そのため、基本制御構造を理解し、自ら考える力をつける
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 システム開発のライフサイクルと職種・アルゴリズムとは 2 フローチャートの記号・基本制御構造 3 接続・分岐・反復 4 2分岐・3分岐・多分岐 5 カウント型・while型・until型 6 定数と変数・代入・交換 7 演算子・比較演算子 max求める 8 繰り返しの詳細 9 最高点先か後か 10 コントロールブレイク 11 配列 12 2次元配列 13 奇数魔法陣 14 ソート1 15 ソート2 16 ソート3 17 ソート4 18 サーチ1 19 サーチ2 20 サーチ3 21 順位付け1 22 順位付け2 23 順位付け3 24 順位付け4 25 データ構造 26 ヒープ構造 27 ハッシュ構造・逆ハッシュ構造 28 ファイルの読み書き 29 リスト構造 30 再帰・その他の構造化図法
試 験 の 実 施 方 法	・前期試験あり・後期試験あり ※授業最終日にそれまでの範囲の試験を内で試験を実施します。
成 績 評 価 方 法	出席30%・試験70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計したものに授業への取り組みを加味し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	表計算実習	授 業 方 法	実習
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:浅川 順子 振興財団主催のパソコン講座を9年にわたり担当		

■授業科目情報

授 業 内 容	Excelでどんなことができるのかを知り、その後画面の構成、基本操作を学ぶ。基本操作を習得した上で、仕事を効率よく行うための表やグラフの操作も行う。シートに分かれている特性を理解し、連携させた操作の仕方・印刷テクニック・データベースの操作も学習する。
到 達 目 標	Excelの概要を理解し、Excelでできること、また使いこなす楽しさを知ってもらう。基本的な操作を習得することはもちろんのこと、表の作成、関数を使った数式入力、グラフの挿入と編集、データベースを操作できるようになること。さらにこれらをスムーズに行えるようになることを目指します。
教 科 書	よくわかるEXCEL2013 基礎
年 間 授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 パソコンの基本操作 2 Excelの基礎知識 3 データの入力 4 データの編集(コピー・切り取り・オートフィル機能) 5 第2章練習問題 6 表の作成(関数の入力:SUM.AVERAGE) 7 表の作成(罫線・塗りつぶし・表示形式の設定) 8 表の作成(配置・フォント設定) 9 表の作成(列や行の設定・編集) 10 第3章練習問題 総合問題1 11 関数の入力方法を確認する SUM.AVERAGE関数の復習 12 いろいろな関数を利用する(MAX,MIN,COUNT,COUNTA) 13 相対参照と絶対参照を使い分ける 14 第4章練習問題 総合問題2 15 前期試験 16 複数シート間での操作(シート名の変更・作業グループの設定) 17 複数シート間での操作(シートを移動・コピー) 18 複数シート間での操作(シート間で集計する) 19 第5章練習問題 総合問題 20 表の印刷 21 第6章練習問題を利用して習得確認 22 グラフの作成(円グラフ) 23 グラフの作成(縦棒グラフ) 24 グラフの作成(グラフの種類の変更・書式設定) 第7章練習問題 25 データベースの利用(並べ替え・抽出) 26 データベースの利用(データベースを効率的に操作する) 27 総合問題4 28 総合問題5 29 総合問題6 30 後期試験
成 績 評 価 方 法	<p>①出席率 30% ②試験及び課題作成 70%</p> <p>・上記3項目の合計を100点満点とし、成績評価を算出します。</p> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	ネットワーク	授 業 方 法	講義・実習
年 度	2020年度	年 間 授 業 時 間 数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:折本 陸郎 専任教員		

授業科目情報

授 業 内 容	ネットワークのしくみを知るために、TCP/IPプロトコルなどのネットワークの基礎を理解する。
到 達 目 標	1.有線と無線、個人向けと法人向けなど、例を挙げて説明することができる。 2.OSI参照モデル、TCP/IPモデルについて、説明することができる。 3.暗号化や認証技術があることを理解した上で、安心安全に機器を操作することができる。
教 科 書	これ一冊で身につく ネットワークの基本としくみ(Gene著、ナツメ社、2018.07.09発行)
年 間 授 業 計 画	1 ネットワークの基礎知識 2 ネットワーク上の通信のしくみ 3 ネットワーク基盤(インフラ)の特徴と種類 4 LANとWAN イーサネット 5 無線LAN 6 TCP/IP 7 ネットワークの基本ルール 8 物理層 9 データリンク層 10 ネットワーク層 11 IPアドレス 12 トランスポート層 13 アプリケーション層 14 Webサイトアクセス 15 電子メール 16 ネットワーク全体の流れ 17 ネットワークを構成する機器の役割としくみ 18 ネットワーク機器 19 レイヤスイッチ 20 ルータ 21 レイヤ3スイッチ 22 VLAN 23 セキュリティ1 24 セキュリティ2 25 暗号化技術 26 認証技術 27 アクセス制御 28 デジタル証明書 29 SSL 30 VPN
成 績 評 価 方 法	出席30%・定期試験の評価70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	C言語	授 業 方 法	講義・実習
年 度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 滝川啓子 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	Visual Studioを使いC言語プログラム作成の基礎を学ぶ 基本情報処理試験の言語選択に対応できるように過去問題をふまえて学習する
到 達 目 標	与えられた課題に対して、自らアルゴリズムを考えC言語にできるようになる 基本情報処理試験の過去問題のプログラムが理解できるようになる
教 科 書	入門C言語 実教出版
年 間 授 業 計 画	1 C言語の特徴・プログラム作成の実際・実行結果の確認とデバッグ・関数の記述 2 データ型・printf_sの書式 3 変数宣言・代入 4 scanf_s 5 演算子(算術演算・論理演算) 6 if文 7 switch case文 8 for文 9 while文 10 do while文 11 配列1 12 配列2 13 2次元配列1 14 2次元配列2 15 文字列 16 ポインタ変数1 17 ポインタ変数2 18 関数1 19 関数2 20 関数3値渡し 21 関数4アドレス渡し 22 関数5配列の関数渡し 23 再帰 24 標準関数 25 構造体1 26 構造体2 27 共用体1 28 共用体2 29 リスト構造1 30 リスト構造2
成 績 評 価 方 法	①出席率=30% ②試験の点=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計したものに平常点を加味し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	総合日本語	授 業 方 法	講義、演習形式及び活動
年 度	2020年度	年 間 授 業 時 間 数	180時間
開 講 学 期	前期 後期	授 業 コ マ 数	前期 45コマ 後期 45コマ
単 位 数	12.0	週 間 授 業 数	前期 3回 後期 3回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:山口美奈子 都内の大学(英語専攻)を卒業後、大手化粧品会社にて営業事務、旅行代理店にて旅行事務、国立大学にて医学英文雑誌編集事務と秘書業務に従事。日本語教師の適正資格を取得後、2011年から、都内の大学留学生別科、専門学校、日本語学校、定住者外国人日本語支援事業、技能実習生日本語支援、中国の公立大学にて日本語教師、また日本語教師養成講座の講師として教鞭を取り、現在に至る。留学生日本語教育全般担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	これまでの学習の基礎力強化として文法項目をチェック、語彙を増やし、使える日本語力を身につける。総合的な日本語力の伸長と実務で使えることを目指すため、テーマに沿ってIT、就職話題関連の話題にも触れ、適宜活動を取り入れる。
到達目標	日本社会で通用する日本語力と、スムーズな発信、インターアクションができることを目指しつつ、N1,2合格に近づける。
教 科 書	TryN2/ドリル&ドリル文字語彙N1,N2/ドリル&ドリル読解聴解N1,2/JLPT読むN2/JLPT文のルールN2/スピードマスター文法N2/ドリル&模試N1,N2/適宜サブテキスト及びプリント
年 間 授 業 計 画	1 テーマ「就職活動」総合日本語演習/JLPT演習 2 テーマ「就職活動」総合日本語演習/JLPT演習 3 テーマ「就職活動」総合日本語演習/JLPT演習 4 テーマ「就職活動」総合日本語演習/JLPT演習 5 テーマ「苦労した5年間」総合日本語演習/JLPT演習 6 テーマ「苦労した5年間」総合日本語演習/JLPT演習 7 テーマ「苦労した5年間」総合日本語演習/JLPT演習 8 テーマ「苦労した5年間」総合日本語演習/JLPT演習 9 テーマ「オオカミと生態系」総合日本語演習/JLPT演習 10 テーマ「オオカミと生態系」総合日本語演習/JLPT演習 11 テーマ「オオカミと生態系」総合日本語演習/JLPT演習 12 テーマ「オオカミと生態系」総合日本語演習/JLPT演習 13 テーマ「取引先で」総合日本語演習/JLPT演習 14 テーマ「取引先で」総合日本語演習/JLPT演習 15 テーマ「取引先で」総合日本語演習/JLPT演習 16 テーマ「取引先で」総合日本語演習/JLPT演習 17 テーマ「食べ放題」総合日本語演習/JLP演習 18 テーマ「食べ放題」総合日本語演習/JLP演習 19 テーマ「食べ放題」総合日本語演習/JLP演習 20 テーマ「食べ放題」総合日本語演習/JLP演習 21 テーマ「満員電車」総合日本語演習/JLPT演習 22 テーマ「満員電車」総合日本語演習/JLPT演習 23 テーマ「満員電車」総合日本語演習/JLPT演習 24 テーマ「満員電車」総合日本語演習/JLPT演習 25 テーマ「ラーメンの紹介」総合日本語演習/JLPT演習 26 テーマ「ラーメンの紹介」総合日本語演習/JLPT演習 27 テーマ「ラーメンの紹介」総合日本語演習/JLPT演習 28 テーマ「ラーメンの紹介」総合日本語演習/JLPT演習 29 テーマ「ウォーキングシューズの開発」総合日本語演習/JLPT演習 30 テーマ「ウォーキングシューズの開発」総合日本語演習/JLPT演習
成 績 評 価 方 法	出席30% 定期試験50% 平常点(授業への取り組み)20% * 出席率が75%に満たない場合は認定外 * 成績評価は次の4段階とし、D評価は認定外(A:80点以上 B: 65点以上 C:50点以上 D:49点以下)
備 考	適宜小テストを実施、宿題を課す。内容は進度により変更になることがある。

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	実践学習	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:折本 陸郎・滝川 啓子 専任教員		

授業科目情報

授 業 内 容	就職等それぞれの進路に向けて円滑な活動ができるように、さらに就職後に活躍できる人材になるために、一般常識の学習、業界研究、資格研究、履歴書の書き方、自己PR方法を習得する。手段として、「ビジネス能力検定3級」合格に向けた学習も行う。
到 達 目 標	1.自己分析をしたうえで、自らの能力、意思について、適切に表現できる。 2.志望する業界、技術動向について、自ら調べることができる。 3.自分の意見を述べることができ、かつ、適切なコミュニケーションをすることができる。 4.ビジネス能力検定3級に合格できる。
教 科 書	2019年度版 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)
年 間 授 業 計 画	1 オリエンテーション 2 自己分析 3 自己分析 4 業界研究 5 業界研究 6 資格研究 7 自己PR 8 志望動機探索 9 履歴書・エントリーシートの書き方 10 履歴書・エントリーシートの書き方 11 ビジネスとコミュニケーションの基本 12 ビジネスとコミュニケーションの基本 13 仕事の実践とビジネスツール 14 仕事の実践とビジネスツール 15 ビジネス用語の基本 16 情報処理技術者試験対策 17 情報処理技術者試験対策 18 情報処理技術者試験対策 19 情報処理技術者試験対策 20 ビジネス能力検定模擬試験 21 ビジネス能力検定模擬試験 22 ビジネス能力検定模擬試験 23 就職活動点検 24 ビジネスマナー実践 25 ビジネスマナー実践 26 コミュニケーション能力向上グループワーク 27 コミュニケーション能力向上グループワーク 28 身だしなみ 29 就職活動点検 30 後期まとめ
成 績 評 価 方 法	出席30%・定期試験及び授業課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	情報化と経営	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 森谷 孝子 日商簿記1級取得。マミヤ商事(株)、トーラスレコード(株)にて経理業務を経験後、専門学校での商業ビジネス、簿記会計の指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	職業人として知っておきたい、企業における業務知識全般や、情報化と企業活動に関する分析を行うために必要となる基礎的な用語や知識を学習する。さらに、経営戦略策定のための業務分析手法や、目標達成の手段として情報システムがどのように使われているかも学習する。情報化社会の中で働く人が備えておきたい基本的な知識を重点に反復する。
到 達 目 標	情報処理技術者試験・ITパスポート試験のストラテジ系の知識を、実社会と関係づけることができる。 企業活動における基礎的な用語や企業の仕組み・組織形態について説明できる。
教 科 書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(原山麻美子著,技術評論社,2019年11月13日)
年 間 授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業活動の基本 2 企業経営管理 3 企業会計基礎 4 代表的な財務諸表 5 企業会計の計算問題 6 在庫管理と減価償却 7 予測値の計算問題 8 経営分析における計算の練習問題 9 知的財産権関連法規 10 セキュリティ関連法規 11 プライバシーを守る法規 12 労働/取引関連法規 13 ITパスポート試験 平成30年度春期・秋期過去問題(前期履修範囲) 14 期末テスト前練習問題 15 前期期末試験実施 16 標準化関連ガイドライン 17 業務改善に用いる分析手法 18 競争力を高める経営戦略 19 自社の現状を知る経営分析 20 マーケティング活動 21 ビジネス戦略と技術開発戦略 22 ビジネスインダストリ 23 各種経営戦略に関する練習問題 24 eビジネス 25 情報システム戦略 26 ソリューションの活用 27 システムの調達 28 ITパスポート試験 平成31年度春期・秋期過去問題(前期履修範囲) 29 後期期末試験実施 30 後期期末試験解答解説
成 績 評 価 方 法	<p>出席率20% 提出物・単元確認小テスト30% 期末試験50%</p> <p>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</p> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	C言語	授 業 方 法	講義・実習
年 度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 滝川 啓子 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	Visual Studioを使いC言語プログラム作成を1年次の続きからを学ぶ 基本情報処理試験の言語選択に対応できるように過去問題をふまえて学習する
到 達 目 標	与えられた課題に対して、自らアルゴリズムを考えC言語にできるようになる 構造体や共用体を理解し、オブジェクト指向の考え方を理解する
教 科 書	入門C言語 実教出版
年 間 授 業 計 画	1 1年次復習 2 関数1 3 関数2 4 関数3値渡し 5 関数4アドレス渡し 6 関数5配列の関数渡し 7 再帰 8 標準関数 9 標準関数 10 構造体 11 構造体 12 構造体 13 構造体 14 共用体 15 共用体 16 共用体 17 リスト構造 18 リスト構造 19 リスト構造 20 リスト構造 21 リスト構造 22 ファイル処理 23 ファイル処理 24 ファイル処理 25 ファイル処理 26 ファイル処理 27 ビット演算 28 記憶クラスと適用範囲 29 プリプロセッサと分割コンパイル 30 C++の命令文
成 績 評 価 方 法	出席30%・試験70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計したものに授業への取り組みを加味し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	2年
授 業 科 目 名	Java	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:辻 昌宏 インテレック(株)、システム機器(株)でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・実習形式でプログラミング言語Javaを学びます。 ・教科書を補強するための小課題独自プリント教材を用意し、確実なプログラミング作成能力の育成を図ります。 ・後期には、レベルを変えた総合課題により、個人個人の問題を明らかにし、解決させながら定着 ・即戦力としてのJavaプログラマー育成を目指します。
到 達 目 標	
教 科 書	スッキリわかるJava入門第3版(インプレス,中山清喬・国本 大悟著/株式会社フレアリンク監修,2019年11
年 間 授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習環境説明・eclipse操作実習 2 Javaプログラムの書き方 3 式と演算子 4 条件分岐と繰り返し 5 配列 6 メソッド 7 複数クラスを用いた開発 8 オブジェクト指向 9 インスタンスとクラス 10 さまざまなクラス機構 11 継承 12 高度な継承 13 多態性 14 カプセル化 15 前期総合復習課題 16 Javaを支える標準クラス 17 文字列と日付の扱い 18 Webサイトアクセスのまとめ 19 コレクション 20 ArrayListの使い方 21 LinkedListの使い方 22 Mapの使い方 23 コレクションの応用 24 例外 25 総合演習1 26 総合演習2 27 総合演習3 28 総合演習4 29 総合演習5 30 総合演習6
成 績 評 価 方 法	<ol style="list-style-type: none"> ①出席率=30% ②課題提出による評価点=70% <ul style="list-style-type: none"> ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	インターネットホームページ制作	授 業 方 法	実習
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:小山田 和枝 東京都障害者就職支援学校 非常勤講師、東京都雇用促進能力開発校 非常勤講師		

■授業科目情報

授 業 内 容	HTMLタグを中心とした、ホームページ作成の基礎知識やコンテンツの作成までの流れを習得し、理解する。(コンテンツの内容については、学生の進捗状況による) 画像データの加工処理、デザイン関連の課題を作成予定。無料サーバーでFTPの概念を学習する。
到 達 目 標	HTMLにて作成したコンテンツを実際にアップして、自分のホームページを作成。 ITパスポート試験における過去問題をベースにした模擬試験にて、試験合格を目指してインターネットの仕組みについて学ぶ。
教 科 書	HTML ワークブック ステップ30
年 間 授 業 計 画	1 HTMLタグの理解 (サンプルページ、ソースの理解) 2 コンテンツの設計、作業の基本的な流れ 3 ファイル名と拡張子の理解 画像、イラストなどの素材利用時の説明 4 タグの基本と改行 5 見出しと段落 文字の装飾 6 文字の書式と行揃え 7 HTMLにおける色指定 8 画像の利用 9 画像のサイズと文字の配置 10 リンクの作成とパスの記述 11 特殊なリンクの作成 12 BODYタグに指定できる属性 ・ Tパスポート過去問題演習 13 表の作成 ・ Tパスポート過去問題演習 14 前期課題作成 15 前期試験・課題提出 16 TABLEタグに指定できる属性 17 Dタグに指定できる属性 18 表のグループ化とセルの結合 19 表をレイアウトに利用する 20 表をページレイアウトに利用する 21 フォームの作成 22 フレームの利用 23 音声や動画の利用とファイルのダウンロード 24 CSSを利用する 25 文字書式のCSS 26 背景のCSS 27 サイズと余白のCSS ・ Tパスポート過去問題演習 28 枠線のCSS・CSSを利用したデザイン ・ Tパスポート過去問題演習 29 CSSでレイヤーを作成する・課題作成 30 後期試験・課題提出
成 績 評 価 方 法	①出席率 30% ②試験及び課題提出 70% 上記2項目の合計を100点満点とし、成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	プレゼンテーション実習	授 業 方 法	実習
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 浅川 順子 財団法人にて事務職に5年間従事後、振興財団主催のパソコン講座を9年にわたり担当		

■授業科目情報

授 業 内 容	訴求力のあるスライドを作成し効果的なプレゼンテーションを行うため、プレゼンテーションの概念を理解し、Power Pointの基本操作から表やグラフ、図形、画像を取り入れる技法について学ぶ。練習問題に取り組み繰り返し練習することにより操作をスムーズに行い、聞き手に直感的に理解してもらえるものを作る。
到 達 目 標	プレゼンテーションの概念・意義を理解し、Power Pointで発表者の考えをスムーズに正しく視覚化するための技術を身に付けること。「MOS攻略問題集PowerPoint 2013」を使ってMOS検定合格に向けてのカリキュラムも取り入れ、実践的な技術も習得すること。
教 科 書	よくわかるPowerPoint2013テキスト
年 間 授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 Power Pointの概要と基礎知識 2 Power Pointの基本をマスターする(画面構成、プレゼンテーションの作成) 3 プレイスホルダーの操作、新しいスライドの挿入、箇条書きテキストの入力・編集 4 プレゼンテーションの構成の変更(スライドの複製・入れ替え)スライドショーを実行・保存 5 第2章練習問題 6 表を作成、編集する 7 表に書式を設定、文字の配置の変更 8 第3章練習問題 9 グラフの作成、レイアウト変更、書式設定 10 グラフのもととなるデータの修正、グラフの種類の変更 11 第4章練習問題 12 図形の作成と編集、書式設定 13 前期課題作成 14 前期課題作成 15 前期試験 前期課題提出 16 Smartartグラフィックの作成、図形の追加と削除 17 SmartArtグラフィックの移動・サイズ変更、スタイルの適用、書式設定 18 箇条書きテキストをSmartArtに変換、SmartArtグラフィックのレイアウト変更 19 第5章練習問題 20 画像とワードアートの挿入と編集、第6章練習問題 21 アニメーションと画面切り替え効果の設定、第7章練習問題 22 プレゼンテーションに役立つ機能(ペンや蛍光ペンの利用、発表者ビュー、リハーサルの実行) 23 プレゼンテーションに役立つ機能(目的別スライドショーの作成)第8章練習問題 24 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(練習モードにて説明①) 25 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(練習モードにて説明②) 26 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(本番モードにて 模試第1回) 27 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(本番モードにて 模試第2回) 28 後期課題作成 29 後期課題作成 30 後期試験 後期課題提出
成 績 評 価 方 法	<p>①出席率 30% ②試験及び課題作成 70%</p> <p>・上記3項目の合計を100点満点とし、成績評価を算出します。</p> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	ビジネスマナー	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1年
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 青田美穂 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	日本でのビジネス常識ならびに基本的なコミュニケーションを身につける 将来、日本で職業人として適応するため身につけておくべき知識を習得する。
到 達 目 標	就職活動ならびにアルバイト先での勤務に直結できるよう実践力を身につける事を目標とする。 日本の文化や風習についても習得する。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 ビジネスマナーとは何か、自己紹介など 2 感じの良い挨拶、お辞儀練習、身だしなみ 3 尊敬語① 4 尊敬語② 5 尊敬語③ 6 謙譲語① 7 謙譲語② 8 謙譲語③ 9 丁寧語① 10 丁寧語② 11 丁寧語③ 12 電話対応① 13 電話対応② 14 電話対応③ 15 前期テスト 16 来客対応と訪問の基本マナー① 17 来客対応と訪問の基本マナー② 18 来客対応と訪問の基本マナー③ 19 指示の受け方と報連相 20 働く意識、取り組み方 21 顧客意識、時間意識など8つの意識について 22 スケジュール管理 23 ビジネスカタカナ用語① 24 ビジネスカタカナ用語② 25 食事のマナー 26 冠婚葬祭 27 日本の文化・風習 28 全体総括① 29 全体総括② 30 後期テスト
成 績 評 価 方 法	出席30%・試験(前期)及び課題提出物(後期)70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	総合日本語	授 業 方 法	講義、演習形式及び活動
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:山口美奈子 都内の大学(英語専攻)を卒業後、大手化粧品会社にて営業事務、旅行代理店にて旅行事務、国立大学にて医学英文雑誌編集事務と秘書業務に従事。日本語教師の適正資格を取得後、2011年から、都内の大学留学生別科、専門学校、日本語学校、定住者外国人日本語支援事業、技能実習生日本語支援、中国の公立大学にて日本語教師、また日本語教師養成講座の講師として教鞭を取り、現在に至る。留学生日本語教育全般担当。		

授業科目情報

授 業 内 容	1年次学習の復習としての文法項目、さらにN2以上の文法項目の学習、使える語彙の強化と漢字を含む語彙をさらに増やす。就職面接の準備に必要な日本語力と、日本社会におけるコミュニケーションストラテジーを身につけ、実務で使えることを目指すため、テーマ、状況に応じてIT、就職関連の話題にも触れ、適宜活動を取り入れる。
到達目標	使える日本語力と、日本社会において、状況に応じたスムーズな発信、インターアクションができることを目指す。N2レベル以上到達。
教 科 書	中級を学ぼう中級中期／ドリル&ドリル文字語彙N1,2／ドリル&ドリル聴読解N1,2／JLPTN2読む／JLPT文のルールN2／スピードマスター文法N2／シャドーイング就職・アルバイト・進学面
年 間 授 業 計 画	1 テーマ「色」／N2文字語彙文法、読解と演習 2 テーマ「色」／N3文字語彙文法、読解と演習 3 テーマ「色」／N4文字語彙文法、読解と演習 4 テーマ「色」／N5文字語彙文法、読解と演習 5 テーマ「色」／N6文字語彙文法、読解と演習 6 テーマ「色」／N7文字語彙文法、読解と演習 7 テーマ「色」／N8文字語彙文法、読解と演習 8 テーマ「お金」／N9文字語彙文法、読解と演習 9 テーマ「お金」／N10文字語彙文法、読解と演習 10 テーマ「お金」／N11文字語彙文法、読解と演習 11 テーマ「お金」／N12文字語彙文法、読解と演習 12 テーマ「お金」／N13文字語彙文法、読解と演習 13 テーマ「お金」／N14文字語彙文法、読解と演習 14 テーマ「お金」／N15文字語彙文法、読解と演習 15 テーマ「遺伝」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 16 テーマ「遺伝」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 17 テーマ「遺伝」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 18 テーマ「遺伝」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 19 テーマ「遺伝」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 20 テーマ「遺伝」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 21 テーマ「漫画・アニメ・本」／文字語彙文法／聴読解演習／就職面接シャドーイング 22 テーマ「漫画・アニメ・本」／文字語彙文法／聴読解演習／就職面接シャドーイング 23 テーマ「漫画・アニメ・本」／文字語彙文法／聴読解演習／就職面接シャドーイング 24 テーマ「漫画・アニメ・本」／文字語彙文法／聴読解演習／就職面接シャドーイング 25 テーマ「漫画・アニメ・本」／文字語彙文法／聴読解演習／就職面接シャドーイング 26 テーマ「漫画・アニメ・本」／文字語彙文法／聴読解演習／就職面接シャドーイング 27 テーマ「制服」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 28 テーマ「制服」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 29 テーマ「制服」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング 30 テーマ「制服」／文字語彙文法／聴読解総まとめ／就職面接シャドーイング
成 績 評 価 方 法	出席30% 定期試験50% 平常点(授業への取り組み)20% * 出席率が75%に満たない場合は認定外 ・成績評価は次の4段階とし、D評価は認定外(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)
備 考	適宜小テストを実施、宿題を課す。内容は状況により変更になることがある。

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	ITコース	2年
授 業 科 目 名	総合日本語(日本語ライティング)	授 業 方 法	講義	
年 度	2020年度	年間授業時間数	120時間	
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ	後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回	後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 竹村里佳子 慶應義塾大学商学部卒業・日本語教師養成講座修了 日本語学校で非常勤講師として勤務中			

■授業科目情報

授 業 内 容	ライティング能力の向上のために、初級・中級の文法、語彙、表現なども学習します。また、履歴書や自己PR、ビジネスメールの書き方も習得する。
到 達 目 標	文法や語彙を適切に使用し、自然な日本語で長い文章を書けるようになる。漢字やひらがな、カタカナを正しく書けるようになる。履歴書、自己PR、ビジネスメールなどを自分で書けるようになる。
教 科 書	参考:『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』、『伸ばす! 就活能力・ビジネス日本語』
年 間 授 業 計 画	1 自己紹介、ライティングクラスの概要 2 文章表現①、文の写生 3 語彙①、自己PRを書く 4 文章表現②、文法①、自己PRを書く 5 文章表現②、語彙②、レポートを書く 6 文章表現③、文法②、レポートを書く 7 志望動機文①、企業研究の方法・募集要項の見方 8 文章表現③、語彙③、履歴書を書く 9 文章表現④、文法③、履歴書を書く 10 志望動機文②、自己分析ー性格・適正・能力 11 文章表現④、語彙④、レポートを書く 12 文章表現⑤、文法④、レポートを書く 13 文章表現⑤、語彙⑤、志望動機の書き方 14 文章表現⑥、文法⑤、志望動機文:履歴書作成 15 文章表現⑥、志望動機文:面接における質問の対応 16 文章表現⑦、レポートを書く 17 文章表現⑦、語彙⑥、自己PRを書く 18 文章表現⑧、文法⑥、ビジネスメールの書き方 19 文章表現⑧、語彙⑦、社内メールを書く 20 文章表現⑨、文法⑦、レポートを書く 21 文章表現⑨、文法⑧、レポートを書く 22 文章表現⑩、語彙⑨、社外メールを書く 23 文章表現⑩、文法⑨、履歴書を書く 24 文章表現⑪、語彙⑩、履歴書を書く 25 文章表現⑪、文法⑩、社外メールで履歴書を送る 26 文章表現⑫、語彙⑪、レポートを書く 27 文章表現⑫、文法⑪、レポートを書く 28 文章表現⑬、語彙⑫、面接対応 29 文章表現⑬、文法⑫、自己PRを書く 30 文章表現⑭、文法⑬、レポートを書く
成 績 評 価 方 法	①出席率=30% ②单元ごとの復習問題の提出20%、作成文書50% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	ITコース	2年
授 業 科 目 名	情報セキュリティ	授 業 方 法	講義	
年 度	2020年度	年間授業時間数	60時間	
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ	後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回	後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:折本 陸郎 専任教員			

■授業科目情報

授 業 内 容	情報漏洩などに関するニュースや身近に潜むリスクを、情報セキュリティの知識をもって自ら分析するために、企業の情報資産に対するサイバー攻撃や情報漏洩の脅威を学び、保護すべき対象のセキュリティを確保するしるみを学ぶ。
到 達 目 標	1.情報セキュリティの定義・管理対象を列挙できる。 2.情報セキュリティにおける脅威を具体的に述べ、また一般化することができる。 3.情報セキュリティにおける対策について、自らも実施し、また組織内ではコミュニケーションしながらそれを示すことができる。
教 科 書	平成30-31/01年 ITパスポート出るとこマスター-2018年8月4日初版、原山麻美子、技術評論社)
年 間 授 業 計 画	1 情報セキュリティ 2 マルウェア1 3 マルウェア2 4 フィッシング1 5 フィッシング2 6 標的型攻撃1 7 標的型攻撃2 8 Webサイトへの攻撃1 9 Webサイトへの攻撃2 10 Webサイト利用者への攻撃1 11 Webサイト利用者への攻撃2 12 共通鍵暗号方式1 13 共通鍵暗号方式2 14 公開鍵暗号方式1 15 公開鍵暗号方式2 16 利用者認証1 17 利用者認証2 18 メッセージ認証1 19 メッセージ認証2 20 デジタル署名1 21 デジタル署名2 22 ファイアウォール1 23 ファイアウォール2 24 無線LANセキュリティ1 25 無線LANセキュリティ2 26 携帯端末セキュリティ1 27 携帯端末セキュリティ2 28 セキュリティ関連法規1 29 セキュリティ関連法規2 30 まとめ
成 績 評 価 方 法	出席30%・定期試験及び授業課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。

以上